

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.204
2018. 3. 21

特集

南山大学とカトリックの精神
本学卒業生が東京大司教に就任



南山大学



NANZAN
UNIVERSITY



本学卒業生が カトリック東京教区大司教に就任

2017年12月16日に、東京都文京区の東京カテドラル聖マリア大聖堂で、本学卒業生であるタルチシオ菊地功大司教(神言修道会)のカトリック東京教区第9代大司教就任の着座式が執り行われました。

菊地大司教は、南山大学文学部神学科を卒業後、南山大学大学院文学研究科神学専攻博士前期課程を修了されました。1986年に南山教会で司祭に叙階され、西アフリカでの司牧活動、カトリック神言修道会日本管区長などを歴任された他、南山大学ならびに南山短期大学の非常勤講師も務められました。現在、カリタスジャパン責任司教も務めています。

前任の岡田武夫大司教のご退任に伴い、教皇フランシスコによって菊地大司教が国内最大の教区である東京教区大司教に任命されました。着座式とは、前任の大司教から司教の杖(バクルス)を受け取り、紋章が掲げられた椅子(司教座)に着座する儀式で、これにより正式に大司教に就任することになります。式には、菊地大司教の前任地である新潟教区や神言修道会管区本部のある名古屋をはじめ、全国から150名以上の司祭団および約2,500名の参列者、海外からも枢機卿、大司教が集まり、聖堂は超満員となりました。また、かつて菊地大司教がアフリカ・ガーナ共和国の小教区で

働かれていたこともあり、同国のナナ・アド・ダンクワ・アクフォ=アド大統領もご祝辞を寄せられました。菊地大司教は、「多様性における一致」をモットーとして掲げており、これをもとに「キリストという一つの体に結ばれ、全ての人を受け入れ、一致する教会となるよう努めたい。」という決意を述べられました。

このたび菊地大司教から、現役の南山大生に向けてメッセージをいただきましたのでご紹介します。

「南山大学は国際的な大学です。色々な国の留学生がいるので、彼らと友好的に出会い、その出会いを大切にしてほしいと思います。そして、私たちが暮らしている日本だけではなく世界に目を向け、世界は広いこと、そこには様々な現実があることを知ってほしいと思います。」

菊地大司教の今後益々のご活躍をお祈りしています。



聖体を受ける菊地大司教

杖(バクルス)を受け取る菊地大司教



菊地大司教の紋章
さまざまな円がいくつも重なって菊地大司教がモットーとされている「多様性における一致」を表現

南山大学とカトリックの精神

南山大学は、男女共学の総合大学としては、中部唯一のカトリック系ミッションスクールで、「キリスト教世界観に基づく学校教育を行い、人間の尊厳を尊重かつ推進する人材の育成」をその建学の理念としています。この建学理念に具体的な方向性を与えるために、本学は「人間の尊厳のために(ラテン語でHominis Dignitati)」という教育モットーを掲げています。

行事

◆入学式・卒業式

入学式・卒業式は、カトリックの「祈り」から始まります。荘厳な雰囲気の中、司祭とその場に集うすべての人が学生を祝福し、世界の平和を祈ります。

入学式では、聖歌の後に司祭が聖書の一節を朗読し、その後に入生の学生生活の充実を祈ります。卒業式では、「卒業感謝の祈り」として、司祭が卒業生へのはなむけの言葉として聖書の一節を朗読し、その後各学部の代表者が、これまでの学生生活や、教職員、家族、後輩、社会に対して感謝を述べ、また自身が平和に役立つ者となるよう祈ります。また全員で「平和の祈り」を朗読し、司祭により卒業生の前途が祝福され、学位記授与式に移ります。



入学式(祈禱)



卒業式(卒業感謝の祈り)

◆受難

野外宗教劇「受難」は、2017年度に51回目を迎えた本学を代表する伝統行事で、イエス・キリストのエルサレム入城からゴルゴタの丘における十字架の死を経た復活までを、大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員の学生が演じます。毎年10月に行われます。



◆降誕祭

イエス・キリストの誕生を祝う「降誕祭」は、学生の有志団体「降誕祭実行委員会」の企画により毎年12月に行っており、2017年度に28回目を迎えました。「クリスマス聖式」は、神言神学院において南山大学長、南山学園理事長、南山大学宗教教育委員会委員長の司式のもと執り行われます。



授業

◆「人間の尊厳」科目

教育モットーである「人間の尊厳のために」を学ぶ機会を提供するために設けている、選択必修科目です。1996年に開講して以来、20余年が経過しました。人間や人と社会・科学・学問との関わりなど広範にわたるテーマを学びます。

- ・宗教に見る人間の尊厳
- ・哲学・倫理学における人間の尊厳
- ・思想史に学ぶ人間の尊厳
- ・政治・経済と人間の尊厳
- ・法と人間の尊厳
- ・性と生命における人間の尊厳
- ・教育・文化における人間の尊厳
- ・民族問題と人間の尊厳

◆宗教科目

南山大学の学問・教育の基礎をなすキリスト教的ヒューマンズを身につけるために、宗教全般とキリスト教に対する理解をさらに深め、正しい理解を得ることができるように、必修科目としてカリキュラムが組まれています。

- ・宗教論
- ・キリスト教概論



南山大生も参加できるカトリックの国際交流

ASEACCU(東南・東アジアカトリック大学連盟)

ASEACCU^{*1}には、日本、オーストラリア、カンボジア、インドネシア、韓国、フィリピン、台湾、タイの東南アジア・東アジアの国や地域から、約80校のカトリック系大学が加盟し、毎年開催される学生会議には、各加盟校の代表学生が、テーマに基づきグループディスカッションやプレゼンテーションを行うほか、さまざまな企画により異文化交流を深めています。2018年の開催国は日本で、8月21日から26日まで広島県にあるエリザベト音楽大学が会場となり開催されます。

ACUCA(アジア・キリスト教大学協会)

ACUCA^{*2}には、日本、香港、インド、インドネシア、韓国、フィリピン、台湾、タイのキリスト教系大学が加盟しており、2年に1度国際学生会議(STUDENT CAMP)が開催されます。各加盟校の代表学生が互いの文化や社会を踏まえて共に語り合い、相互理解を深めることを目的としています。

*1 ASEACCU: The Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities
*2 ACUCA: The Association of Christian Universities and Colleges in Asia

カトリック系大学の交流

日本国内では、カトリック修道会を設立母体とし、姉妹校としてスポーツ対抗戦「上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)」で毎年交流している上智大学をはじめ、全18大学が日本カトリック大学連盟に加盟し、カトリック教育の使命達成のために協力関係を築いています。



学部・学科別志願者数・合格者数推移

学部	学科・方式・専攻	一般入試		全学統一入試 〔個別学力試験型〕		全学統一入試 〔センター併用型〕		センター利用入試 〔前期3教科型〕		センター利用入試 〔前期5教科型〕		合計*		
		志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	
人文	キリスト教学科	58	16	91	27	31	4	73	15	-	-	253	62	
	人類文化学科	543	180	324	52	172	67	97	29	133	44	1,269	372	
	心理人間学科	628	162	339	46	185	63	138	49	167	39	1,457	359	
	日本文化学科	536	178	274	55	225	59	132	37	166	46	1,333	375	
人文学部計		1,765	536	1,028	180	613	193	440	130	466	129	4,312	1,168	
外国語	英米学科	631	167	335	50	192	54	273	58	156	59	1,587	388	
	スペイン・ラテンアメリカ学科	スペイン専攻	155	52	142	25	73	40	108	24	112	33	641	189
		ラテンアメリカ専攻	51	15										
	フランス学科	フランス文化専攻	165	64	168	35	79	34	91	22	74	29	632	214
		フランス社会専攻	55	30										
	ドイツ学科	ドイツ文化専攻	108	41	156	67	83	30	125	26	72	32	598	220
		ドイツ社会専攻	54	24										
	アジア学科	東アジア専攻	120	53	120	30	68	20	57	37	81	64	475	220
東南アジア専攻		29	16											
外国語学部計		1,368	462	921	207	495	178	654	167	495	217	3,933	1,231	
経済	経済学科	A方式	1,457	372	696	136	351	158	307	92	400	119	3,688	1,021
		B方式	477	144										
経済学部計		1,934	516	696	136	351	158	307	92	400	119	3,688	1,021	
経営	経営学科	A方式	1,307	254	653	95	333	140	207	73	164	56	2,902	695
		B方式	238	77										
経営学部計		1,545	331	653	95	333	140	207	73	164	56	2,902	695	
法	法律学科	1,090	336	622	165	358	118	335	124	199	60	2,604	803	
総合政策	総合政策学科	1,861	338	929	174	334	124	285	52	184	52	3,593	740	
理工	システム数理学科	A方式	169	71	152	44	79	29	128	72	83	32	703	289
		B方式	92	41										
	ソフトウェア工学科	A方式	332	102	169	42	92	23	140	53	111	48	920	286
		B方式	76	18										
	機械電子制御工学科	A方式	267	122	136	55	72	26	157	67	120	45	791	331
B方式		39	16											
理工学部計		975	370	457	141	243	78	425	192	314	125	2,414	906	
国際教養	国際教養学科	572	191	387	53	228	80	-	-	130	65	1,317	389	
合計		11,110	3,080	5,693	1,151	2,955	1,069	2,653	830	2,352	823	24,763	6,953	

学部	学科・方式・専攻	一般入試		全学統一入試 〔個別学力試験型〕		全学統一入試 〔センター併用型〕		センター利用入試 〔前期3教科型〕		センター利用入試 〔前期5教科型〕		センター利用入試 〔後期〕		合計		
		志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	
人文	キリスト教学科	75	16	115	18	62	14	87	37	-	-	-	-	339	85	
	人類文化学科	548	181	301	72	165	68	214	78	94	74	29	4	1,351	477	
	心理人間学科	586	183	309	61	188	63	239	114	131	97	28	7	1,481	525	
	日本文化学科	546	168	298	64	210	104	273	83	114	75	47	7	1,488	501	
人文学部計		1,755	548	1,023	215	625	249	813	312	339	246	104	18	4,659	1,588	
外国語	英米学科	606	163	343	43	256	72	383	154	196	108	45	5	1,829	545	
	スペイン・ラテンアメリカ学科	スペイン専攻	149	51	132	45	73	28	95	84	44	39	18	10	559	273
		ラテンアメリカ専攻	48	16												
	フランス学科	フランス文化専攻	148	61	135	50	67	33	81	67	46	37	24	13	547	280
		フランス社会専攻	46	19												
	ドイツ学科	ドイツ文化専攻	101	41	136	54	64	33	127	111	37	32	24	16	528	302
		ドイツ社会専攻	39	15												
	アジア学科	東アジア専攻	182	40	193	38	102	26	143	70	44	39	20	9	759	241
東南アジア専攻		75	19													
外国語学部計		1,394	425	939	230	562	192	829	486	367	255	131	53	4,222	1,641	
経済	経済学科	A方式	1,500	404	694	152	378	160	393	262	307	236	110	21	3,755	1,399
		B方式	373	164												
経済学部計		1,873	568	694	152	378	160	393	262	307	236	110	21	3,755	1,399	
経営	経営学科	A方式	1,272	275	605	119	348	151	372	174	258	169	91	13	3,157	968
		B方式	211	67												
経営学部計		1,483	342	605	119	348	151	372	174	258	169	91	13	3,157	968	
法	法律学科	1,210	373	607	193	350	137	584	226	173	112	47	7	2,971	1,048	
総合政策	総合政策学科	1,694	371	795	166	462	140	328	112	72	44	59	3	3,410	836	
理工	システム数理学科	A方式	166	78	126	51	63	31	122	75	150	65	42	7	762	349
		B方式	93	42												
	ソフトウェア工学科	A方式	248	109	128	54	67	37	128	76	100	56	45	9	810	384
		B方式	94	43												
	機械電子制御工学科	A方式	305	121	127	61	59	28	122	86	147	85	58	13	854	406
B方式		36	12													
理工学部計		942	405	381	166	189	96	372	237	397	206	145	29	2,426	1,139	
国際教養	国際教養学科	643	154	394	73	247	96	-	-	189	104	-	-	1,473	427	
合計		10,994	3,186	5,438	1,314	3,161	1,221	3,691	1,809	2,102	1,372	687	144	26,073	9,046	

※センター利用入試〔後期〕の結果につきましては、大学Webページ「受験生の皆様」にてご確認ください。http://www.nanzan-u.ac.jp/admission/



一般入試および全学統一入試の志願者数は4年連続増加

2018年度入試の志願者数は、一般入試が11,110人、全学統一入試は〔個別学力試験型〕が5,693人、〔センター併用型〕が2,955人、センター利用入試は〔前期3教科型〕が2,653人、〔前期5教科型〕が2,352人、主要3入試の合計では24,763人となり、昨年度からは623人の減少（昨年度比97.5%）となりました。

2018年度入試の概況

2018年度入試より、英語能力試験スコア等保持者の外国語科目の取扱いを拡充し、大学入試センター試験「外国語」に対しても、英語能力試験のスコア等を活用できるようになりました。また、2月7日の全学統一入試においては、北陸地方の大雪の影響により、富山会場および金沢会場の試験開始時刻を繰り下げて実施しました。

合格発表

合格発表は2月20日に、Webページ上に合格者の受験番号を掲載し、併せて合格通知書（入学手続き類を含む）を送付する形で行いました。今年度の合格者数は、一般入試が3,080人、全学統一入試は〔個別学力試験型〕が1,151人、〔センター併用型〕が830人、〔前期5教科型〕が823人でした。

2018年度入試 都道府県別志願者数・合格者数 ※2018年2月20日合格発表分

都道府県	志願	合格	都道府県	志願	合格	都道府県	志願	合格	都道府県	志願	合格	
北海道	53	8	新潟県	13	1	奈良県	34	11	熊本県	3	1	
青森県	1	0	富山県	63	24	和歌山県	21	4	大分県	0	0	
岩手県	8	0	石川県	59	8	鳥取県	6	0	宮崎県	4	3	
宮城県	9	0	福井県	58	14	島根県	8	0	鹿児島県	16	3	
秋田県	2	0	山梨県	16	1	岡山県	27	6	沖縄県	5	2	
山形県	0	0	長野県	97	31	広島県	17	7	大検	104	17	
福島県	4	2	岐阜県	2,943	857	山口県	8	1	外国	3	0	
茨城県	15	5	静岡県	711	214	徳島県	10	3	指定	0	0	
栃木県	7	4	愛知県	18,470	5,247	香川県	11	2	認定	0	0	
群馬県	11	3	三重県	1,596	393	愛媛県	21	5	在外指定	5	0	
埼玉県	23	7	滋賀県	28	9	高知県	4	0	専修学校高等課程	0	0	
千葉県	24	7	京都府	17	4	福岡県	24	9				
東京都	55	11	大阪府	51	14	佐賀県	1	0				
神奈川県	40	9	兵庫県	57	6	長崎県	0	0				
				合計	24,763	6,953						

Special Events

2017.11.29

2017年度防災訓練

11月29日に、2017年度防災訓練（自主訓練）を実施しました。今回は地震発生後にQ棟において火災発生という想定で訓練を実施し、参加者は緊急地震速報の訓練放送後のシェイクアウトや避難誘導、初期消火・通報等、キャンパス全体の災害時対応を確認しました。また、名古屋市大学生消防団南山大学分団所属の学生も訓練に参加し、救護ステーションでの応急手当補助や仮設トイレの設置訓練を行いました。その後、消火器・消火栓使用体験、災害対策備品の展示・使用体験を行いました。



2018.1.12

2018年春学期 外国人留学生別科入学式

1月12日にR棟フラッテンホールで、2018年春学期の外国人留学生別科入学式を執り行いました。16の国と地域から69名（正規生67名、聴講生2名）の新入生を迎えました。式典では、鳥巢学長から「南山大学では、日本語や日本文化などを勉強するのと同時に、人間の尊厳や世界の人々と共生・協働するというテーマについても考えてみてください。」との挨拶がありました。



海外からのご来訪

2017.11.24

台湾のカトリック系大学であり、本学交換留学協定校の輔仁大学から、外国語学部スペイン語・スペイン文化学科学科長Miguel Ángel González Chandiá教授と同学科Mónica Lai准教授が、本学ラテンアメリカ研究センター主催、外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学 科共催講演会の講師として来学され、同日に学長を表敬訪問されました。



2017.12.7

イタリアのナポリ大学フェデリコ2世経営学 科Giuseppe Bruno教授が、日本学術振興会 の外国人研究者招へい事業により本学理工学 部システム数理学科鈴木教授を受入研究者 として2017年11月27日から12月10日まで来日 されました。Bruno教授は2017年11月27日 から2018年3月31日まで理工学研究センター 三種客員研究員として任用されており、本学滞 在中は、鈴木教授らとの研究打ち合わせの他、 理工学部学生向けの講演、理工学研究科の 大学院生も参加した研究会 での研究発表とディスカッ ション、「都市のOR」ワー クショップ2017での研究発表 も行われました。12月7日には 学長を表敬訪問されました。



2018.1.15

タイにあるアサンブション・カレッジから、Dechachai Sripicharn校 長、Witthaya Thepkom副校長を はじめ、教職員12名がご来学され ました。 総合政策学部は優秀な留学生 を積極的に受け入れるために留 学生推薦教育機関（高等学校な ど）から留学生を受け入れる推薦 入試制度を作っており、アサンブ ション・カレッジとは2000年の総 合政策学部開設当初からの協 定を結 締結して います。



私の研究



榎本 雅記 (えのもと まさき)
法務研究科 法務専攻 教授

専攻分野は、刑事手続法。
研究テーマは、刑事免責制度、取引的司法、比較刑事手続法。
主な担当科目は、刑事訴訟法、刑事訴訟法事例研究。

事件)を契機に検察改革、さらには取調への可視化(取調への録音・録画)、取引的司法・刑事免責制度の導入等にまで及んでおり、はじめに挙げました次年度に持ち越された改正法案とは、これらの改正を含む刑事訴訟法等改正案のことで。越年ということになりましたが2016年無事に国会を通過し、この数年のうちに実施される運びとなっています。

私は長年にわたり、この分野、とりわけ刑事免責制度の研究を続けてきました。ようやくこのたびわが国でも導入されることになったわけですが、実施に当たってはまだまだ検討すべき点が山積みというのが正直なところ。これまでわが国では前例のない制度の導入になりますので、すでに長年の運用実績のあるアメリカ合衆国における知見を手がかりとして、スムーズかつ有効な実施にむけてお役に立てるように研究をさらに進めているところです。

刑事司法改革の動向について

2015年の国会で、いわゆる安保関連法が大騒ぎの中で可決成立したことは、みなさまの記憶に新しいところでしょう。しかし、この審議に時間を取られ、ある改正法案が審議未了のまま、ひっそりと次の年に持ち越されたことをご存じでしょうか。

現在刑事司法は激動期にあります。今世紀初頭より進められてきた司法制度改革の1つの目玉に刑事司法改革があります。ちょっとピンと来ないと思われる方も、たとえば、裁判員制度の導入と言われれば、「あ、そうか」と見当が付くのではないのでしょうか。

しかし改革の流れは、それにとどまらず、検察官による不正事件(郵便不正



私のクラス



宮原 佳昭 (みやはら よしあき)
外国語学部 アジア学科 准教授

専攻分野は、歴史学、中国近代教育史。
研究テーマは、中国近代の教育界人士と教育学知。
主な担当科目は、アジア学入門A、アジアと日本、中国近代史研究。

ゼミ生が成長する姿

今回は、私が担当するアジア学科3年次第1クォーターの演習Iおよび第2クォーターのアジア地域演習(以下、宮原ゼミ)を紹介します。宮原ゼミは、近現代中国の政治・社会・国際関係に対する理解を深め、各種のコミュニケーション能力を身につけることを目標に掲げています。また、他大学や他学科と合同ゼミを開催することを特色としています。

4月から5月にかけては、近代中国の重要人物(孫文・蒋介石・毛沢東など)が書いた文章の日本語訳を読解します。毎回数名のゼミ生が発表担当者となり、人物略歴、時代背景、文章要約などをまとめたプリントを事前に準備して口頭発表し、その後ゼミ生全員で質疑応答をします。聞き手にとって分かりやすい口頭発表を模索したり、知識不足や挙手

することへの恥ずかしさに立ち向かって発言しようとする彼らを励ますのが、私の役目です。

6月からは、7月開催の合同ゼミに向けてゼミ生がチームを組み、中国・台湾に関する書籍紹介や自由研究(「中国のSNS事情」「近代から現代にかけての上海における都市生活」など)の準備を進めます。2017年度は立命館大学文学部の宮内肇准教授ゼミとの合同ゼミを本学でおこない、当日は両ゼミ生による口頭発表と質疑応答が繰り返されました。11名のゼミ生がこれまでの経験をふまえて口頭発表や質疑応答をする姿、そして晩の懇親会などで宮内ゼミ生と積極的に交流する姿を目にして、私はゼミ生の成長を強く実感しました。

ゼミ生ひいては南山生が自分の成長を信じて日々励むこと、私はそれを大いに応援します。



合同ゼミで口頭発表中のゼミ生



合同ゼミ懇親会終了後のゼミ生



レイモンド・リノベーション・プロジェクト

南山大学では、1964年に完成した建築家アントニン・レーモンド氏の設計による建物の改修や外構整備計画を「レイモンド・リノベーション・プロジェクト」として2017年度から実施しています。レーモンド氏のコンセプトを受け継ぎ、自然との調和をはかりつつ、学生の居場所を中心に機能面の充実や快適性を向上します。また、グラウンド人工芝やキャンパス内動線などの外構整備も行う予定です。

詳しくは、「NANZAN BULLETIN」vol.205でご紹介いたします。



G30教室改修後イメージ

News

「日本語教員養成プログラム」の設置について

2017年度以降に入学した全学部全学科生を対象に、日本語教育に関わる所定の教育内容を修了した学生に対して証明書を発行する「日本語教員養成プログラム」(必要単位18科目36単位)*を2018年4月から設置します。

南山大学人文学部日本文化学科は、2000年の学部学科開設当時から、学科の主たる教育内容の一つとして日本語教育領域を備え、日本語教員の養成を行ってきました。日本語教員とは、日本語以外の言語を母語とする人を対象として日本語を教える仕事で、実際に国内外で日本語教員として活動している卒業生も少なくありません。また、グローバル化する日本社会においても多様な日本語学習者があり、近年、日本語教育に対する需要、関心は高まっています。

また、本プログラムは、日本語教育機関の告知基準(法務省入国管理局平成28年7月22日策定)で定められている日本語教員資格の一つである、日本語教育に関する科目26単位以上を修得する教育課程に対応するものです。

本学の日本語教育領域の教育内容は専門的かつ網羅的であり、充実した教育内容が特長です。本プログラムの設置により、本学の日本語教員養成プログラム修了という学習目標が設定されることで、さらに学習意欲が高められ、「日本語教育能力検定試験」受験、海外留学などへの動機付けとなることが期待されます。また、外国人留学生の日本語教育への関心を高めることで、本学を志望する外国人留学生の増加や、それに伴い留学生と日本人学生の交流の機会の拡大、ひいては本学の国際化のさらなる進展が期待できます。

本プログラムの履修を希望する場合、原則として2年次の第3クォーター末までに所定の手続きが必要となります。詳細は、2018年4月以降に、南山大学教務課Webページ掲載の履修要項(2018年度入学者用)で本プログラムに関する履修要項をご確認いただき、ご不明な点等ございましたら、人文学部事務室までE-mail(fh-bo@ic.nanzan-u.ac.jp)でお問い合わせください。

<http://office.nanzan-u.ac.jp/KYOUUMU/g/rishu-annai.html>

*「日本語教員養成プログラム」で指定された科目から履修する必要があります。



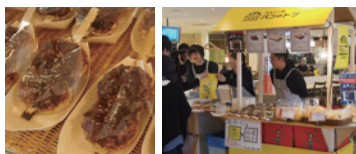
活躍する南山大生

「いっぺん食べてみりん、五平パン」 経営学部学生と「パンのトラ」が共同開発

経営学部経営学科3年で石垣ゼミナール所属の天野佑香さん、青木悠香さん、服部裕太さん、柴田悠斗さんとベーカー「パンのトラ」が共同開発した商品「いっぺん食べてみりん、五平パン」が、2017年12月22日から新東名高速道路NEOPASA岡崎(集約)「パンのトラ」NEOPASA岡崎店で発売を開始しました。

これは、株式会社名古屋銀行のマッチングにより実現した中日本高速道路株式会社(NEXCO中日本)名古屋支社、中日本エクスプレス株式会社名古屋支店との産学連携活動の一環で、高速道路のサービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)の魅力向上のために活動を行ってきました。学生はNEXCO中日本の方と一緒にSA・PAを10カ所、平日・休日それぞれ回り、利用台数や車種、車の登録地などを確認。NEOPASA岡崎を選択し、メニュー立案から販売まで長くかかわれる商品を開発したいとの思いから「パンのトラ」との連携が決まりました。

「地域性」「食べやすさ、持ち運びやすさ」を念頭に、9商品を考え、その中から試行錯誤の末「五平パン」に決定。その後も形状や名前設定など多くの検討を重ねました。開発に携わった学生は「『なにこれ!初めて見た!パン?それとお餅?』というようにインパクトや意外性の強いものになりました。約10カ月にわたる発売までの活動はどれも専門的に難しかったのですが、買いに来てくださった方々の応援はとても温かかったです。五平パンを通して、この地域の魅力をより多くの人に知ってもらえたら嬉しいです。」と話してくれました。



「まっちゃん豆みそのブルドネージュ」 IrisがNPO法人などと共同開発

国際教養学部1年生15名の学生交流センターコアグループIris(アイリス)が、名古屋文化短期大学カフェ・製菓クリエイトコースと認定NPO法人ポパイと共同で、障がい者施設で製造・販売されるお菓子の開発を行い、2018年3月2日からポパイが経営する「MO-YA-CO UNIQUE PRODUCT!」で取扱いを開始しました。

Irisは、障がい者が置かれた社会的、経済的、政治的状況についての理解を深め、ポパイの運営する障がい者施設と共同プロジェクトを実施したり、障がい者政策について学んだりしています。これらの活動は2017年度南山チャレンジプロジェクトに採択されています。今回開発した商品は「まっちゃん豆みそのブルドネージュ」。「分けっこ」の気持ちを社会に広めていこうというメッセージを込め、個包装で分けやすく、添加物は使用しないで素材の味にし、愛知産の材料(抹茶と豆みそ)を使用して地産地消にもこだわりました。

Iris代表で国際教養学部国際教養学科1年の近藤真衣さんは、「開発の過程では苦労もありましたが、障がい者、他大学の学生、企業の方など普段接することの少ない方々と出会い、力を合わせてお菓子を作り上げることができました。小規模ですが共生社会そのものだと思います。」と話してくれました。

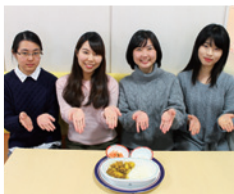


学生食堂で難民支援の特別メニューを提供

学生グループMeal for Refugees at Nanzanが、C棟1階の学生食堂1SYOKUで、2018年1月15日から19日までの5日間、難民支援のための特別メニューを提供しました。

Meal for Refugees at Nanzanは、日本で暮らす難民の故郷の味を提供し、一食につき数十円が認定NPO法人難民支援協会に寄附されるプロジェクトを南山大学で実施しており、この活動は2017年度南山チャレンジプロジェクトに採択されています。2017年5月に5日間、南山大学では初めて実施し、今回は2回目。昨年11月の大学祭期間中に行った投票で1位に輝いたミャンマー料理「鶏肉とジャガイモのスパイス煮込み」を含む3品のセットメニューを、学食の協力を得て提供しました。

試食会を実施するなど学生にも食べやすい味に調整したこともあり、食事をした学生からは、「とてもおいしい。」「学食の特別メニューを食べるだけで難民支援ができるのは嬉しい。」という声がありました。グループ代表で外国語学部英米学科3年の祝迫優衣さんは、「料理を通じて難民の方々に自国の食文化や暮らしがあることを知ってほしいです。」と話してくれました。



大学生消防団南山大学分団が特別表彰

名古屋市大学生消防団南山大学分団が、日頃の活動が評価され、2018年1月19日に名古屋市昭和消防署長から特別に表彰されました。

南山大学分団は2017年度に結成し、昭和消防署の指導のもと応急救護の基礎知識や消防訓練礼式を学んできました。学内防災訓練に参加したり、応急手当普及員資格取得者の学生が学内講習会でAED取扱いなどを指導したりした他、昭和区内の小中学生や地域住民に煙道体験や消火器の取扱い方法の説明、防災に関する知識の啓発なども行ったり、地域の自主防災訓練やイベントに積極的に参加しています。

南山大学分団長で外国語学部英米学科4年の菊池夏子さんは、「南山大学分団の活動がこうに評価され、非常に光栄に思います。表彰式では多くの消防関係者の皆様がいっしょに、地域防災を担う大きなコミュニティの一員として活動させていただいていることを実感しました。」と話してくれました。



総合政策学部の学生が、 日本政策学生会議の政策フォーラムで受賞

2017年12月2日、3日に開催された2017年度日本政策学生会議(ISFJ)の政策フォーラムで、総合政策学部鶴見准教授のゼミナール所属の3年生2チームが論文タイトル「環境配慮行動促進～持続可能な社会を目指して～」、「ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して～働きやすい職場環境へ～」で分科会賞を受賞しました。また、寶多教授のゼミナール所属の3年生1チームが、論文タイトル「日本版所得連動型奨学金返還制度の構築—オーストラリアの制度を参考に—」で優秀発表賞を受賞しました。

※2017年4月総合政策学部から経済学部に移籍



分科会賞を受賞した鶴見ゼミの皆さん



優秀発表賞を受賞した寶多ゼミの皆さん

南山のDNA

日本の文化を世界に～旅館業の素晴らしさ



渡邊 玲緒
法学部法律学科
1998年度卒業

Profile

卒業後、愛知トヨタ自動車株式会社に入社。営業職を2年勤めた後、2001年旅館業を継ぐために実家に戻る。その後15年間で旅館を2館から18館まで多店舗展開し、愛知、三重、富山、愛媛で運営をし、2017年海栄RYOKANS社長・株式会社海栄館代表取締役社長に就任。

これまで製造業が脚光を浴びてきた日本が、今後人口減少していく中で、今最も注目を浴びている産業が観光だと思えます。2014年には約1,400万人だったインバウンドのお客様も昨年には2,800万人を超え、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会までに4,000万人という目標を掲げるほど観光は日本の経済にも大きく寄与しているといえます。

私は南山大学法学部で一番得たことは勉強の大切さであり、学ぶことは裏切らないということでした。その気持ちは今になってより強く感じるようになっていきます。

初代の父の跡を継ぐために旅館業に入りましたが、店舗を拡大し旅館を運営すればするほど、素晴らしい業種であると感じるようになってきました。その要因は主に二つあります。

まず一つ目はお客様より頂戴する時間です。いろいろなサービス業がありますが、たいいてお客様より頂戴する時間は長くて2～3時間です。旅館はチェックインからチェックアウトまで、館にもよりますが約20時間の時間を頂戴します。その上、ホテルと違って1泊2食が基本となっているためご夕食、ご朝食もお召し上がりいただけます。これほどの時間を頂戴するサービ

ス業が他になく、このことから旅館業はサービス業でも最高峰だと誇りに思っています。

二つ目ですが、インバウンドのお客様がお越しいただく目的の一つに日本の文化に触れるというのがあります。5～6泊が平均的なご旅行ですが、ほとんどの方が1泊、2泊はホテルではなく旅館で宿泊をされます。旅館で宿泊するだけで、お布団や大浴場、会席料理、そして旅館業という日本の文化に触れることができます。言い換えれば旅館は日本の文化を世界に発信しているといっても過言ではありません。当館の旅館の一つでは、打掛を着ていただき写真をお撮りいただくというサービスもあります。

今後、日本の経済が縮小しないためにも観光業、旅館業の役割や存在感はより大きくなり、ますますグローバル化していきます。この誇りをもって今後もスタッフ、お客様、そして地域に愛される旅館業を経営してまいります。



海栄RYOKANSの南知多温泉郷「源氏香」



「源氏香」の無料の写真撮影サービスで羽織られる打掛

キャリア支援室
プログラム紹介

第4回南山大学卒業生
キャリア・アドバイザーと在学生との交流会

2018年2月24日、Q棟2階ラーニング・commonsで「第4回南山大学卒業生キャリア・アドバイザーと在学生との交流会」を開催しました。幅広い世代にわたる、様々なキャリアをもったアドバイザー（本学卒業生）にご参加いただき、学生たちは先輩の話に熱心に耳を傾けていました。今後も南山大学から社会で活躍できる人材を多く輩出できるよう、卒業生と在学生とのネットワーク構築・強化を目指して、このような機会を設けていく予定です。



キャリア・アドバイザーとは

南山大学では、在学生のキャリア支援・就職支援のさらなる充実を図るため、社会でご活躍されている卒業生の皆様にキャリア・アドバイザー登録をお願いしています。

キャリア・アドバイザーにご登録いただいた皆様には、本学主催の各種プログラムへのご参加や個別相談を通じて、在学生にアドバイスをさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

キャリア・アドバイザー登録フォーム：
<https://career.jim.nanzan-u.ac.jp/ca/>



2018年度 南山エクステンション・カレッジ
学生向け特別講座

学生時代は自らのキャリア形成やスキルアップのチャンス。南山エクステンション・カレッジでは、学生生活を充実させたい、将来の進路に役立つ資格を取りたい、現在持っているスキルをさらに向上させたいなど、意欲ある学生に各種の講座（有料）を提供しています。

講座名／開講期間	講座開講曜日	申込締切日
公務員試験対策講座（総合コース） 2018年5月19日（土）～2018年12月19日（水）	水・土	5月11日（金）
公務員試験対策講座（教養コース） 2018年5月19日（土）～2018年12月15日（土）	土	5月11日（金）
秘書検定準1級対策講座 2018年6月13日（水）～2018年10月17日（水）	水	6月1日（金）
エアライン就職対策講座（春期） 2018年6月9日（土）～2018年7月7日（土）	土	6月1日（金）
エアライン就職対策講座（秋期） 2018年10月13日（土）～2018年11月24日（土）	土	10月5日（金）
教員採用試験対策講座（基礎コース） 2018年10月6日（土）～2018年12月22日（土）	土	9月28日（金）

この他に、南山エクステンション・カレッジ公開講座として、「日商簿記3級検定試験対策講座」、「3級ファイナンシャルプランニング技能士検定試験対策講座」を講読しています（有料）。
受講申込期間、開講日程等は南山エクステンション・カレッジのWebページ等でお知らせしています。

【申込み・問合せ先】 南山エクステンション・カレッジ事務局（L棟1階）
Phone: 052-833-6957 Fax: 052-832-4306
詳細は、南山エクステンション・カレッジのWebページをご覧ください。
<http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>



2017年度 学生部長表彰

個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたとき、学生部長表彰が授与されます。

【個人】14名

学生氏名	所属名	対象となる活動
林 凌太郎	水泳部	第93回日本学生選手権水泳競技大会 50m自由形、200m自由形 出場
紀太 直哉	水泳部	第93回日本学生選手権水泳競技大会 200m個人メドレー、400m個人メドレー 出場
水野 誠豪	水泳部	第93回日本学生選手権水泳競技大会 200m個人メドレー 出場
今井 美波	ラクロス部女子	第8回APLUアジア・パシフィック選手権大会 U-22日本代表 優勝／第26回東海学生ラクロスリーグ戦 MVP賞、ベストプレイヤー賞
堀崎 菜	ラクロス部女子	第8回APLUアジア・パシフィック選手権大会 U-22日本代表 優勝／第26回東海学生ラクロスリーグ戦 ベストプレイヤー賞
奥村 祐哉	ラクロス部男子	第8回APLUアジア・パシフィック選手権大会 U-22日本代表 優勝／第26回東海学生ラクロスリーグ戦 ベストプレイヤー賞
前田 裕也	ラクロス部男子	第8回APLUアジア・パシフィック選手権大会 U-22日本代表 優勝／第26回東海学生ラクロスリーグ戦 ベストプレイヤー賞
権田 明寛	トライアスロン部	2017日本学生トライアスロン選手権観音寺大会 出場
片山 陽介	陸上競技部	秩父宮賜杯第70回西日本学生陸上競技対校選手権大会 男子800m 出場
吉田 悠人	陸上競技部	秩父宮賜杯第70回西日本学生陸上競技対校選手権大会 男子1500m 出場
大西 航介	硬式庭球部男子	平成29年度全日本学生テニス選手権大会 出場
汲田 祐	理工学部	The 14th IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers(IEEE TOWERS) IEEE TOWERS Supporter's Group Award
寛 裕輝	国際教養学部	第17回全国障害者スポーツ大会 団体競技・車椅子バスケットボール 愛知県選手団 優勝
高見 祐希	経済学部	2017年全日本ヨーヨー選手権大会 ダブル ハンド ルーピング部門 9位／Asia Pacific Yo-Yo Championships 2017 ダブル ハンド ルーピング部門 6位／2017 World Yo-Yo Contest ダブル ハンド ルーピング部門 5位

【団体】6団体

団体名	対象となる活動
ラクロス部女子	第26回東海学生ラクロスリーグ戦 優勝／全日本ラクロス大学選手権大会 ベスト4
ラクロス部男子	第26回東海学生ラクロスリーグ戦 優勝／全日本ラクロス大学選手権大会 ベスト4
基礎スキー部	第38回東海学生基礎スキー選手権大会 男子王座決定戦 優勝／第38回東海学生基礎スキー選手権大会 女子王座決定戦 優勝
バドミントン部	第126回東海大学バドミントン選手権大会 1部リーグ準優勝
軟式庭球部女子	平成29年度秋季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会 女子1部3位入賞
経営学部 川北ゼミ	Sカレ(Student Innovation College)2016 総合優勝、優秀賞/Sカレ2017秋カン(Autumn Conference)コンセプトテーマ1位、「冬カン(Winter Conference)」プランテーマ1位、プラン準優勝、学生賞

寄附者ご芳名

「南山大学将来構想募金」へのご協力に感謝いたします。

ジャパントラスト株式会社 様
Nanzan Running Community 様
原 敬詞 様
末廣 等 様
富田 光治 様
浅見 夏代 様
神谷 圭 様

中村 洋子 様
西村 淳子 様
木田 泰子 様
武田 正博 様
山中 淳子 様
池田 祥三 様
清水 陽三 様
芹沢 彰宏 様
寺澤 種雄 様
池田利恵子 様
服部 成一 様
佐野 光明 様
森 専治 様
岩垂 隆成 様
服部 正夫 様
小川 洋平 様
中川 岑子 様
荒井志津子 様
松岳 大樹 様
内藤 健晴 様
荒川 俊男 様
真木 寛 様

西田 恒隆 様
山中 保彦 様
村松 厚廣 様
高木 説子 様
諸岡 雅仁 様
大野 一秀 様
山内 義之 様
北野 征臣 様
益 良一 様
匿名ご希望者 15名様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

株式会社名古屋銀行 様
南山大学後援会 様
浅見 夏代 様
田村 誠久 様
匿名ご希望者 2名様

新任教員紹介

2018年3月1日付

●理工学部
准教授
名倉 正剛
(専攻分野:ソフトウェア工学、ITシステム運用管理技術)

